

TOTO

施工説明書

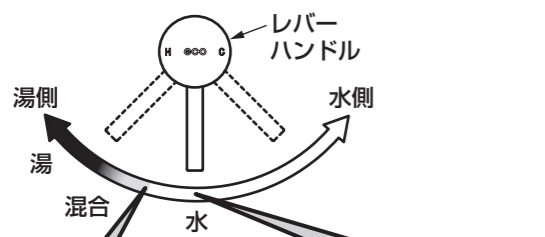
シングルレバーカートリッジ

THF29-1型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

この商品は、「エコシングル水栓」専用の補修用カートリッジです。
今お使いの商品が「エコシングル水栓」であることを確認のうえ、取り付けてください。

エコシングル水栓

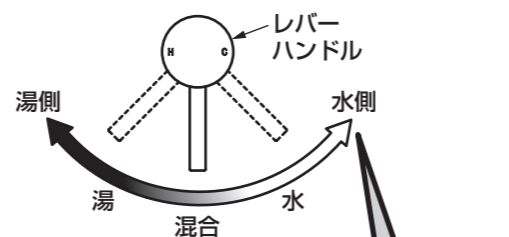


「カチッ」というクリック感
レバー中央(水栓の正面)で水が出ます

- ①レバー中央までは「水」が出ます。
- ②レバーハンドルの水と湯の境にクリック感があります。
- ③レバーハンドル上面に「eco」と表記しております。
- ④水栓本体またはその付近に使いかたラベルを貼り付けています。(お客様がはがしている場合があります。)



通常のシングルレバー水栓



レバー中央では湯と水が混ざって出ます
水だけが出ます

注意

エコシングル水栓以外のシングルレバー水栓のカートリッジを交換し、「エコシングル水栓」として使用しないでください。
商品の品番ラベルと異なる仕様になり、万一の場合、トラブルの原因となります。

＜例＞
品番ラベル

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

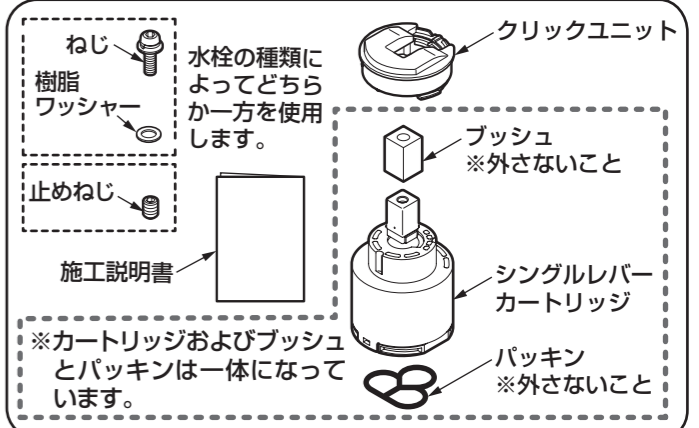
- は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
- は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

注意

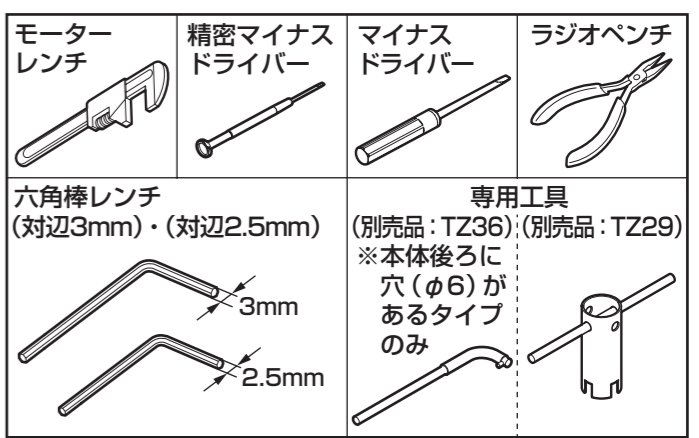
カートリッジやクリックユニットは、絶対に分解しない
特殊組立をしておりますので、破損します。

カートリッジを取り外す際は、必ず止水栓または元栓を閉めてから行う
湯水が噴き出して、やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

2 部品の確認



3 取り付け前に

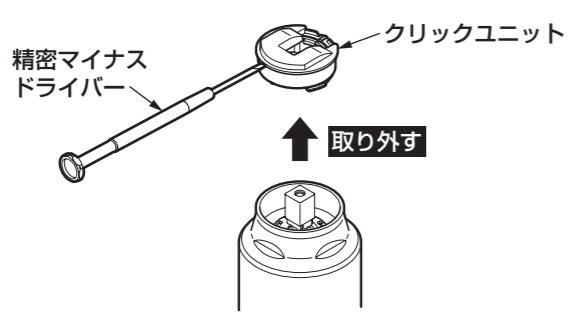
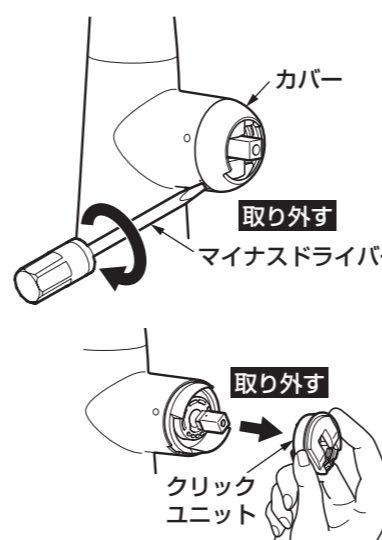
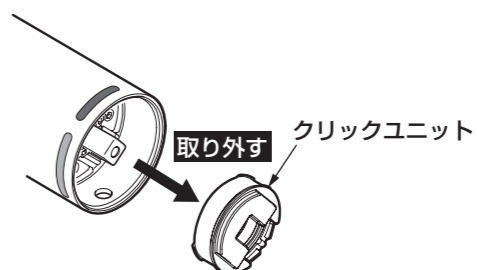
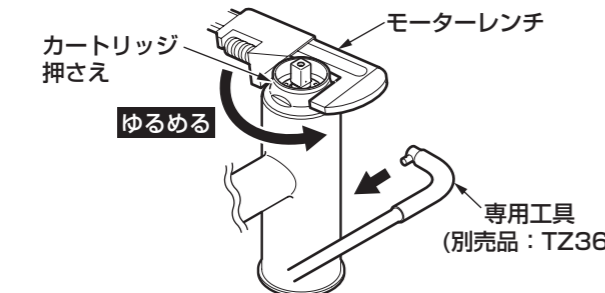
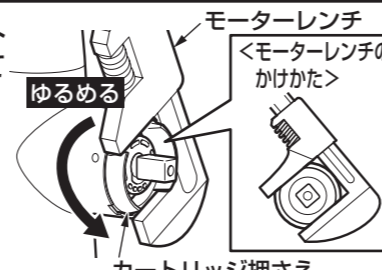

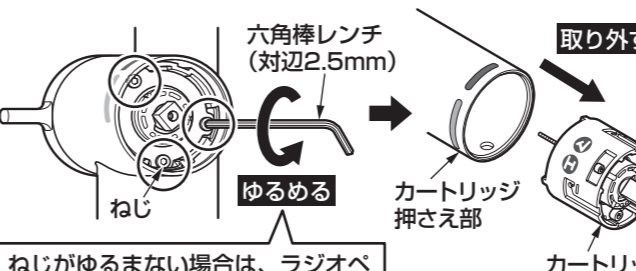

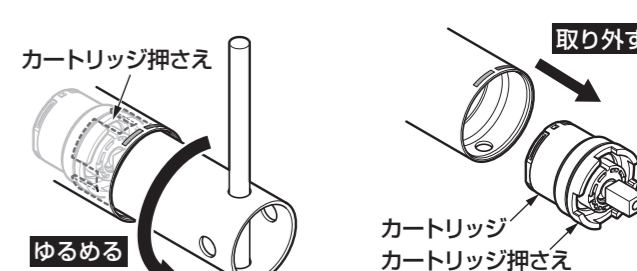
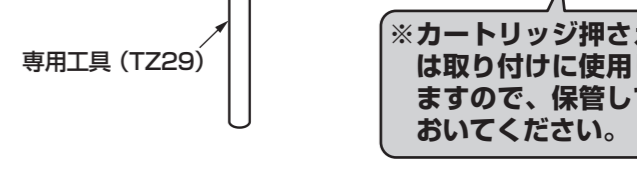
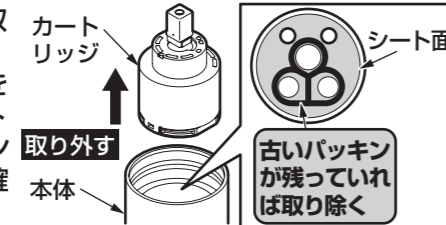
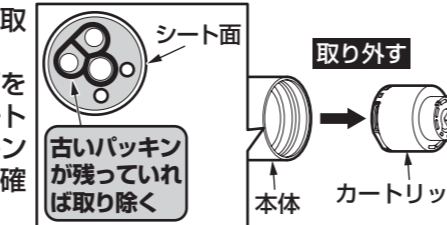
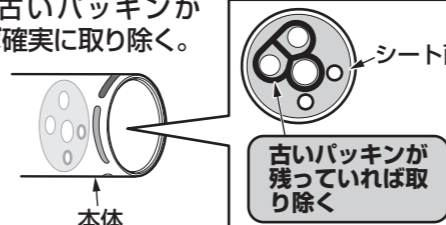
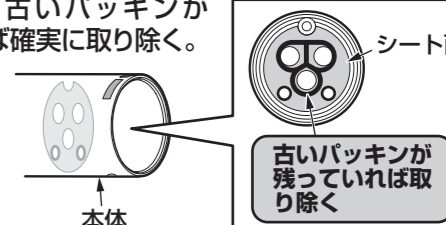
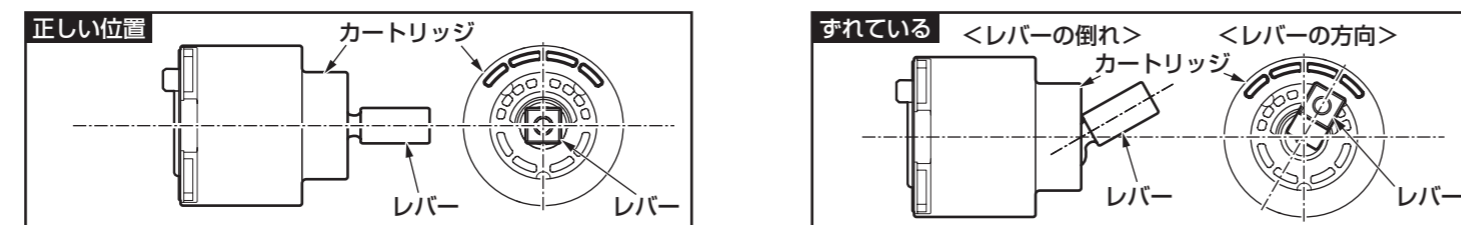
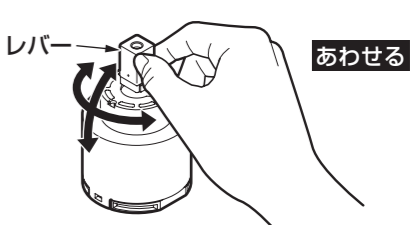
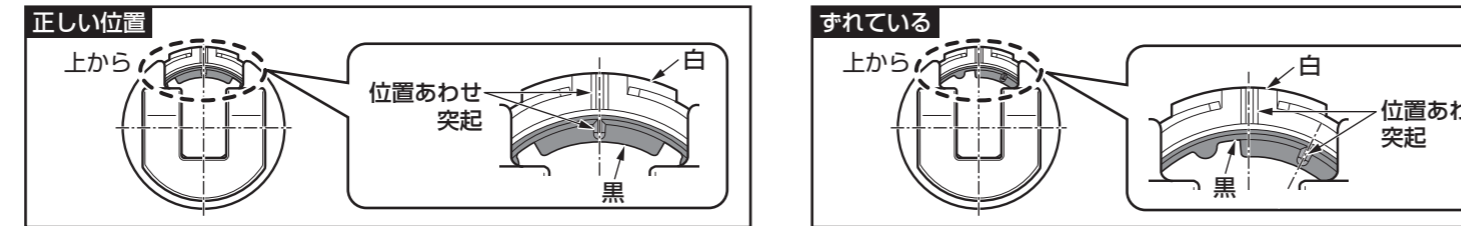



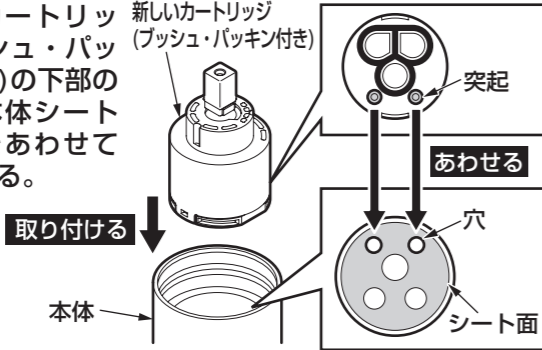
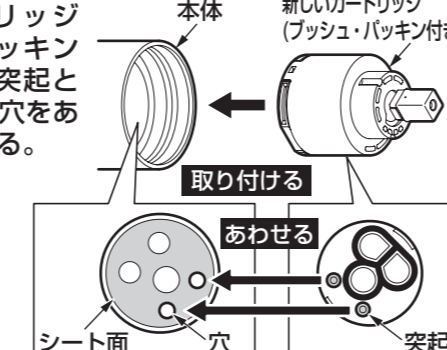
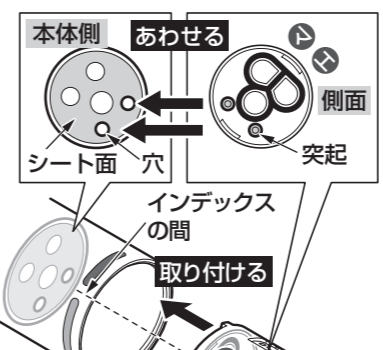
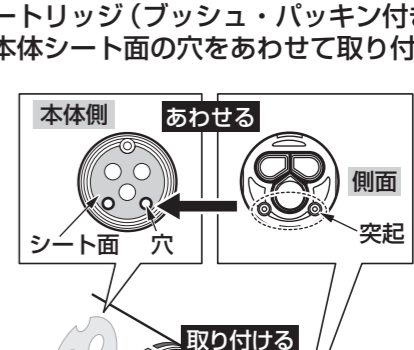
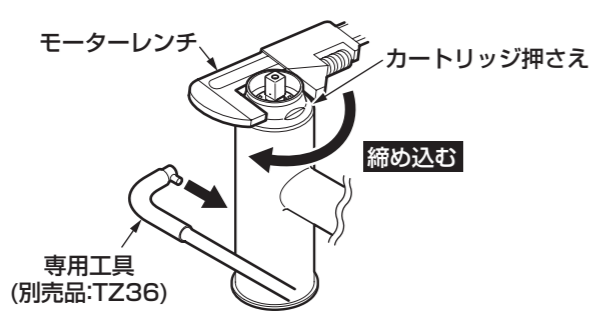
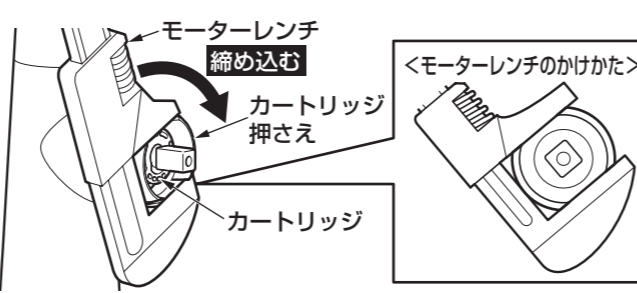

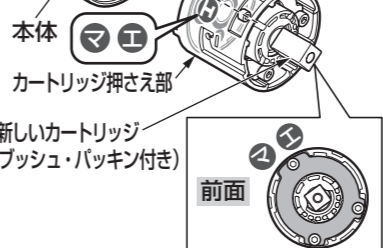

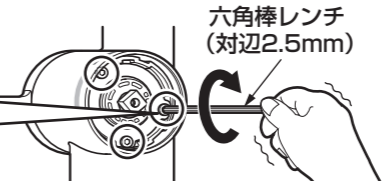
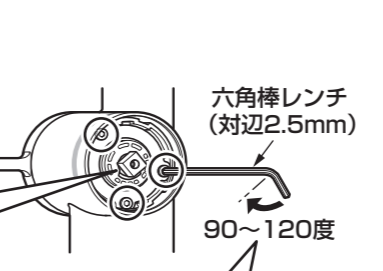
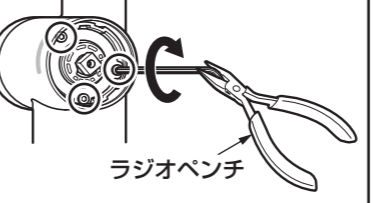

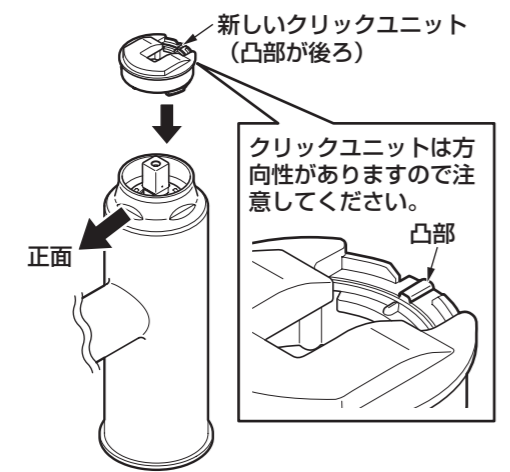
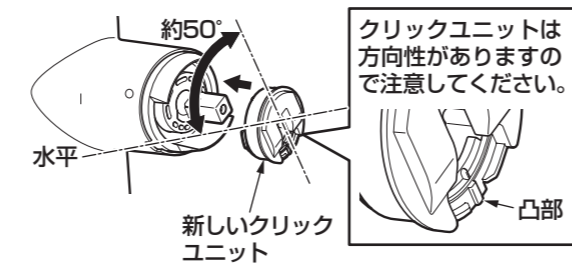
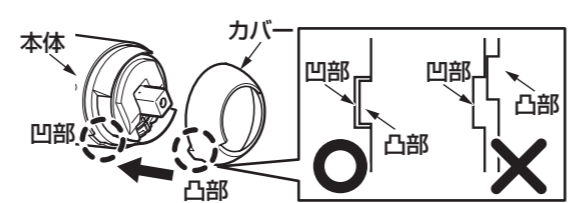
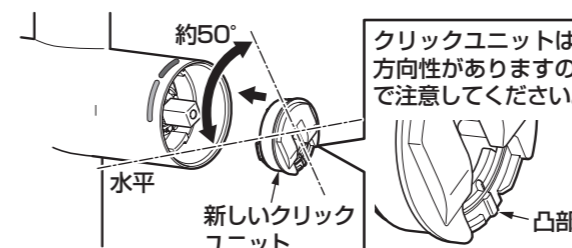
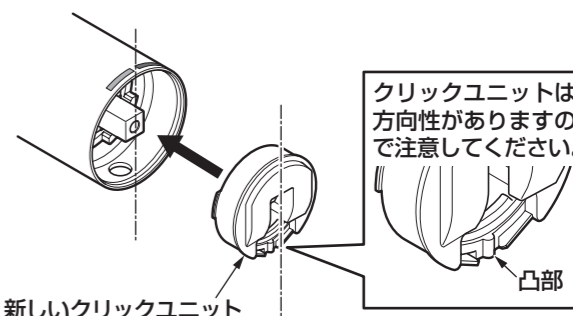
4 取替方法 水栓の種類により、取替方法が異なりますので、ご注意ください。

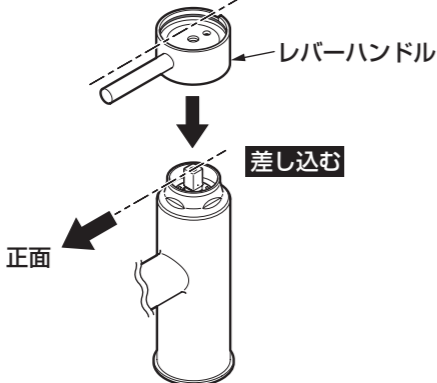
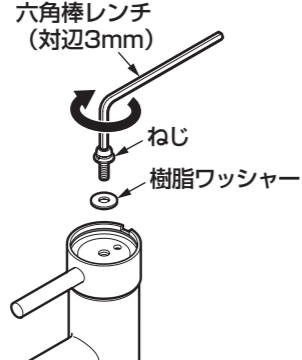
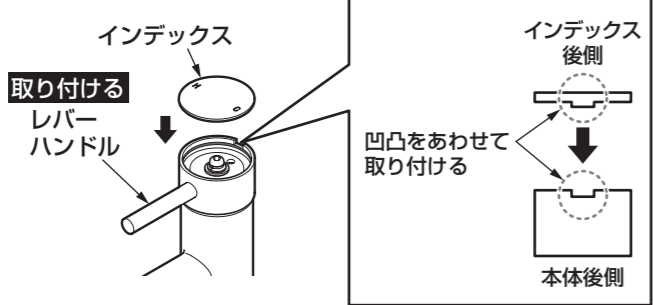
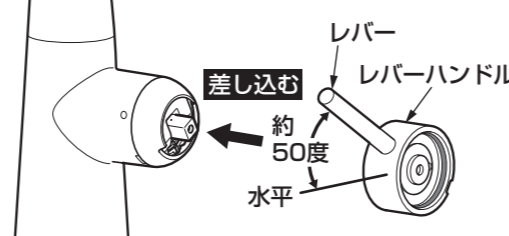
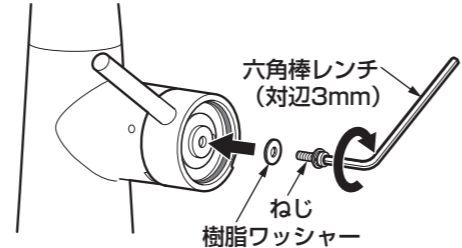
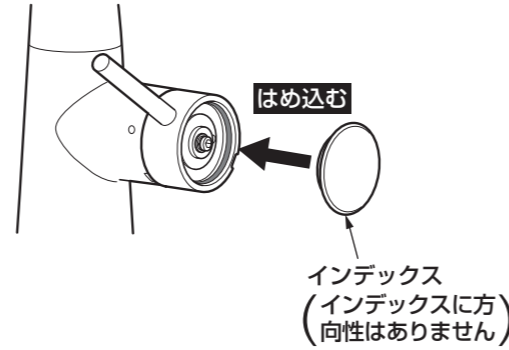
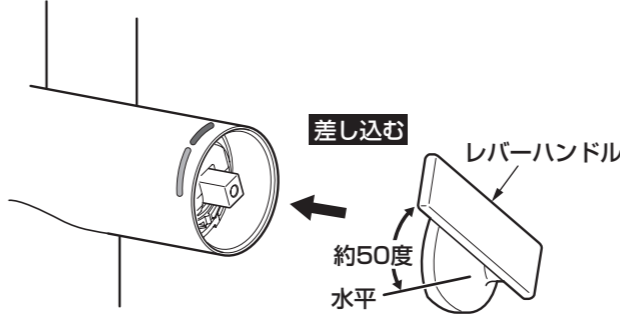
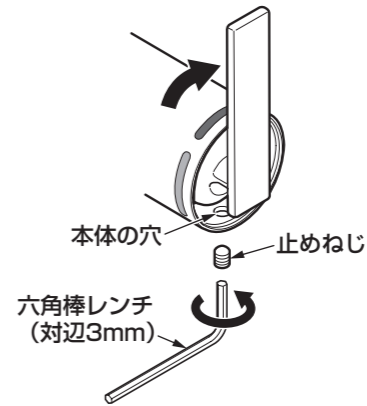
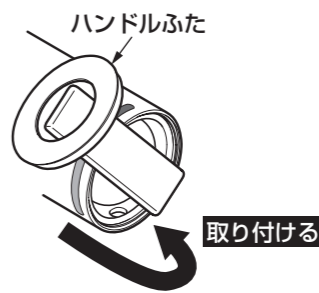
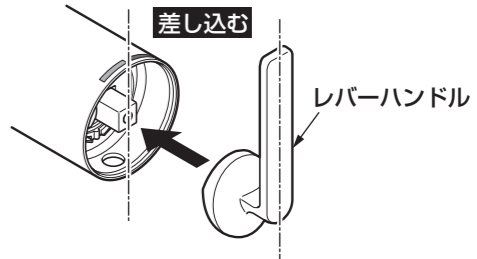
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

対象品番	TKC31E型・TKC32CE型・TLC31BE型 TLNW31BE型・TLNW31B1E型	TKN35PE型・TKN35E型・TEK35型	TKC35EEC型・TKC38EEC型	TEKC38E型・TEKC38ET型 TKC35E型・TEKC35ET型
1 止水栓、または元栓を閉める	湯側・水側の止水栓または元栓を閉める。			
2 レバーハンドルの取り外し	<ol style="list-style-type: none"> ①レバーハンドル上面のインデックスをマイナスドライバーで取り外す。 ②ねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。 ③レバーハンドルを上方向へ引き抜く。 	<ol style="list-style-type: none"> ①レバーハンドルを湯側いっぱいにする。 ②切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで回し、インデックスを取り外す。 ③ねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。 ④レバーハンドルを横方向へ引き抜く。 	<ol style="list-style-type: none"> ①本体下側の穴から先の細い棒状のものを差し込み、内側からハンドルふたを押し出して取り外す。 ②レバーハンドルを真上に動かし、本体下側の穴より六角棒レンチ(対辺3mm)にて止めねじをゆるめてハンドルを取り外す。 	

裏面へつづく

対象品番	TKC31E型・TKC32CE型・TLC31BE型 TLNW31BE型・TLNW31B1E型	TKN35PE型・TKN35E型 TEK35型	TKC35EEC型・TKC38EEC型	TEKC38E型・TEKC38ET型 TKC35E型・TEKC35ET型
3 クリックユニットの取り外し	クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。 	①切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで回し、カバーを取り外す。 注意 カバーを落とさないようささえながら外してください。 ②クリックユニットを取り外す。 	クリックユニットを取り外す。 	
4 カートリッジ押さえの取り外し	モーターレンチでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。  注意 本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売品: TZ36)で水栓が回らないようにしてゆるめてください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。	モーターレンチでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。  注意 モンキーレンチ、プライヤーやパイプレンチは使用しないでください。十分に締め込みができなかったり、部品に傷がついたりするおそれがあります。 	①六角棒レンチ(対辺2.5mm)で3本のねじをゆるめ、カートリッジ押さえ部とカートリッジと一緒に取り外す。  ※カートリッジ押さえ部は分解しないでください。 ②本体のシート面を確認する。シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。 	①専用工具(別売品: TZ29)でカートリッジ押さえをゆるめ、カートリッジ押さえとカートリッジと一緒に取り外す。  ※カートリッジ押さえは取り付けに使用しますので、保管しておいてください。 ②本体のシート面を確認する。シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。 
5 カートリッジの取り外し	①カートリッジを取り外す。 ②本体のシート面を確認する。シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。 	①カートリッジを取り外す。 ②本体のシート面を確認する。シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。 	①カートリッジを取り外す。 ②本体のシート面を確認する。シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。 	①カートリッジを取り外す。 ②本体のシート面を確認する。シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。 
6 新しいカートリッジのレバーの位置合わせ	新しいカートリッジのレバーの位置を右図の正しい位置にあわせる。 		ずれている場合は、レバーを動かし正しい位置にあわせる。 	
7 新しいクリックユニットの位置合わせ	新しいクリックユニットの黒い部品と白い部品の位置を右図の正しい位置にあわせる。 注意 必ず新しいクリックユニットを使用してください。 		ずれている場合は、黒い部品を動かし正しい位置にあわせる。 	

対象品番	TKC31E型・TKC32CE型・TLC31BE型 TLNW31BE型・TLNW31B1E型	TKN35PE型・TKN35E型 TEK35型	TKC35EEC型・TKC38EEC型	TEKC38E型・TEKC38ET型 TKC35E型・TEKC35ET型
8 新しいカートリッジの取り付け	<p>新しいカートリッジ(プッシュ・パッキン付き)の下部の突起と本体シート面の穴をあわせて取り付ける。</p>  <p>突起 あわせる 穴 シート面 本体</p>	<p>新しいカートリッジ(プッシュ・パッキン付き)の下部の突起と本体シート面の穴をあわせて取り付ける。</p>  <p>本体 新しいカートリッジ(プッシュ・パッキン付き) 突起 取り付ける あわせる シート面 穴</p>	<p>①新しいカートリッジ(プッシュ・パッキン付き)とカートリッジ押さえ部を図のようにセットし、カートリッジの下部の突起と本体シート面の穴をあわせて取り付ける。</p>  <p>本体側 あわせる シート面 穴 突起 側面 インデックスの間 取り付ける 本体 カートリッジ押さえ部 新しいカートリッジ(プッシュ・パッキン付き) 前面</p>	<p>新しいカートリッジ(プッシュ・パッキン付き)の下部の突起と本体シート面の穴をあわせて取り付ける。</p>  <p>本体側 あわせる シート面 穴 突起 側面 突起 取り付ける 本体 新しいカートリッジ(プッシュ・パッキン付き)</p>
9 カートリッジ押さえの取り付け	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。</p>  <p>モーターレンチ カートリッジ押さえ 締め込む 専用工具(別売品:TZ36)</p> <p>注意 本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売品:TZ36)で水栓が回らないようにして締め込んでください。 水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。</p>	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。</p>  <p>モーターレンチ 締め込む カートリッジ押さえ カートリッジ <モーターレンチのかけかた></p> <p>注意 モンキーレンチ、プライヤーやパイプレンチは使用しないでください。十分に締め込みができなかったり、部品に傷がついたりするおそれがあります。</p>  <p>×モンキーレンチ ×プライヤー ×パイプレンチ</p>	<p>②カートリッジ押さえ部の側面にあるマIを湯と水のインデックスの間の位置にあわせる。</p>  <p>③ねじ部3カ所の位置をあわせる。</p>  <p>六角棒レンチ(対辺2.5mm)で3本のねじを下图の順番に締め付ける。</p> <p>1最初は六角棒レンチの短い方を握って、3本すべて締め付ける 回らなくなるまで強く締め付けてください。</p>  <p>六角棒レンチ(対辺2.5mm)</p> <p>2次に六角棒レンチの短い方を握って、3本すべて締め付ける 六角棒レンチを横にして90~120度程度増し締めする。</p>  <p>六角棒レンチ(対辺2.5mm) 90~120度</p> <p>六角棒レンチの長さが足りない場合は、ラジオペンチなどで六角棒レンチを挟んで増し締めしてください。</p>  <p>ラジオペンチ</p>	<p>カートリッジ押さえを取り付け、専用工具(別売品:TZ29)でカートリッジ押さえを確実に締め込む。</p>  <p>取り付け カートリッジ押さえ 専用工具(TZ29)</p>
10 新しいクリックユニットの取り付け	<p>新しいクリックユニットを取り付ける。</p>  <p>新しいクリックユニット(凸部が後ろ) 正面 凸部</p> <p>クリックユニットは方向性がありますので注意してください。</p>	<p>①新しいクリックユニットを取り付ける。</p>  <p>約50° 水平 新しいクリックユニット 凸部</p> <p>クリックユニットは方向性がありますので注意してください。</p> <p>②カバーと本体の凹凸をあわせ、押し込んでカバーを取り付ける。</p>  <p>本体 カバー 凹部 凹部 凸部 凸部</p> <p>注意 カバーと本体の凹凸を確実にあわせて取り付けてください。</p>	<p>新しいクリックユニットを取り付ける。</p>  <p>約50° 水平 新しいクリックユニット 凸部</p> <p>クリックユニットは方向性がありますので注意してください。</p>	<p>新しいクリックユニットを取り付ける。</p>  <p>新しいクリックユニット 凸部</p> <p>クリックユニットは方向性がありますので注意してください。</p>

対象品番	TKC31E型・TKC32CE型・TLC31BE型 TLNW31BE型・TLNW31B1E型	TKN35PE型・TKN35E型 TEK35型	TKC35EEC型・TKC38EEC型	TEKC38E型・TEKC38ET型 TKC35E型・TEKC35ET型	
11 レバーハンドルの取り付け	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。</p>  <p>②新しいねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で締め付け、レバーハンドルを固定する。</p> <p>注意 必ず新しいねじを使用してください。</p>  <p>③インデックスをはめ込む。</p> 	<p>①レバーハンドルのレバーを水平から約50度の角度で差し込む。</p>  <p>②新しいねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で締め付け、レバーハンドルを固定する。</p> <p>注意 必ず新しいねじを使用してください。</p>  <p>③インデックスをはめ込む。</p> 	<p>①レバーハンドルのレバーを水平から約50度の角度まで差し込む。</p>  <p>②ハンドルを真上にし、本体の穴より新しい六角棒レンチ(対辺3mm)にて止めねじを締める。</p> <p>注意 必ず新しいねじを使用してください。</p>  <p>③ハンドルふたを取り付ける。</p> 	<p>①レバーハンドルを垂直にあわせ、差し込む。</p> 	
	12 動作確認	必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、操作性やクリックの感触に問題がないか、確認する。			
	13 止水栓を開ける	湯側、水側の止水栓または元栓を開ける。			
	14 水漏れの確認	水漏れがないか確認する。			

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。